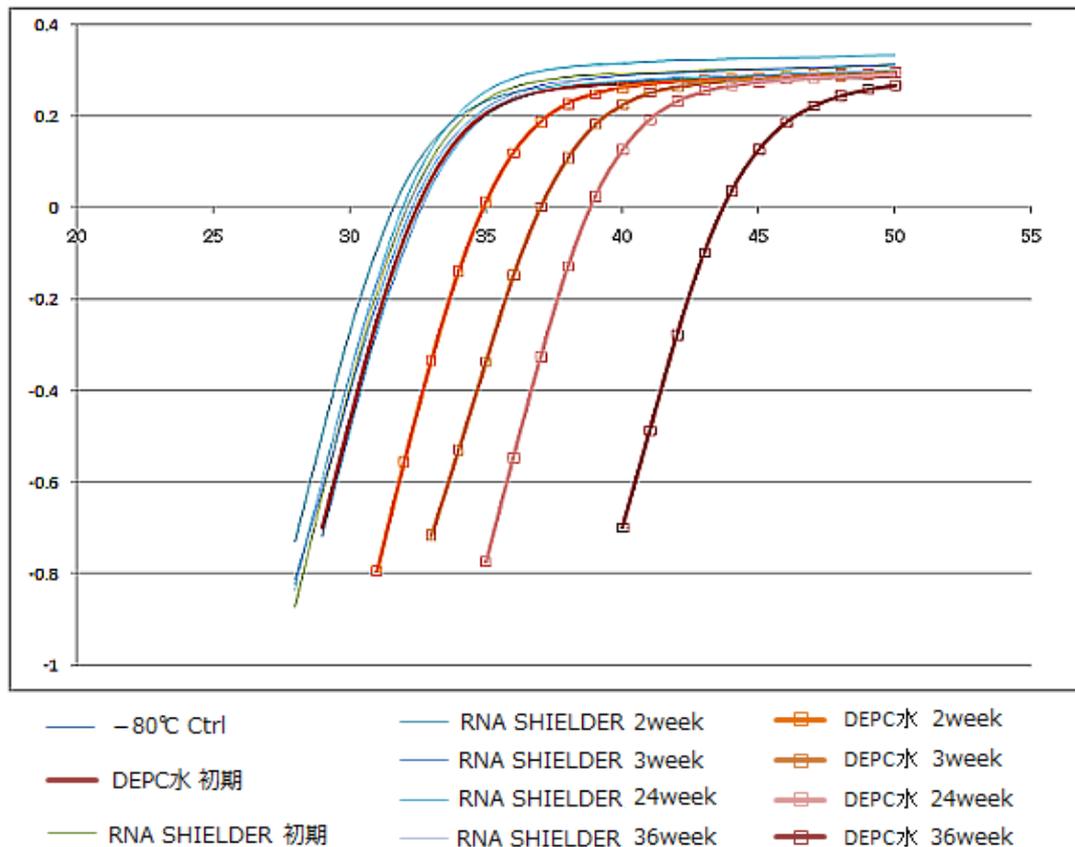


■ ssRNA 保存試験データ

RNA SHIELDER によって 4°C保存された ssRNA の PCR 比較データです。

保存試験に使用した ssRNA は in vitro 転写によって作製した BCR/ABL、TERT の二種類について、RNA 精製キットによって精製したものを用意しました。ssRNA 濃度が 8×10^5 copy/ μ L の濃度となるように RNA SHIELDER、DEPC 水を用いて、RNA SHIELDER(+)と(-)のサンプルを準備しました。それらのサンプルを冷蔵 4°Cにて保存しました。各経時変化の測定ポイントで冷蔵 4°Cの保存溶液サンプルから一定量を採取し、20 μ L の系で逆転写を行いました。その逆転写物に対してそれぞれの遺伝子のプライマーおよび加水分解プローブを用いた PCR を行い、C_p 値の経時変化を追跡しました。以下に TERT 遺伝子の保存試験結果を示しました。

【測定遺伝子：TERT 4°C保存】



RNA SHIELDER(-)の DEPC 水のみでの保存液は ssRNA が徐々に分解し Cp 値が経時的に増加していることがわかります。一方 RNA SHIELDER を使用した ssRNA 溶液では Cp 値が-80°Cコントロールの Cp 値からほとんど変動がなく、分解が抑制されていることがわかります。